

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	舞岡高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	--------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に因るため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、自律・共同・創造・開拓・実践を目標とし、伝統・文化の継承・普及に取り組んできた。また、自ら課題を発見し解決する力をはぐくみ、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて、教育活動の充実に取り組んできた。

今後は、平成28、29年度の2年間「逆さま歴史教育にかかる研究校」として研究開発に取り組んだ成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及するとともに、さらに学校全体で、「教育課程研究開発校（『総合的な探究の時間』（SDGs）に係る研究）」として研究開発に取り組む、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及する。

2 学校教育目標

- ・生徒の資質・能力を向上させる魅力ある授業を展開し、確かな学力の向上を図る。
- ・規範意識を醸成し、自他の大切さを認める豊かな人間性、社会性の育成を図る。
- ・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかなキャリア教育をとおして、社会的・職業的な自立を図る。
- ・地域との協働・連携により、共生意識の育成を図り、地域に愛される学校づくりを推進する。
- ・快適な学習環境を整備し、生徒が安全に安心して過ごせる学校づくりを推進する。

3 計画策定時点での課題

- ・「総合的な探究の時間」の研究成果を活用しながら、全校生徒の主体的な深い学びの実現に向けて、組織的な授業改善につなげていく必要がある。
- ・家庭的に課題を抱える生徒が増加しているため、外部機関との連携を強化し、職員間の共通理解を図るとともに、組織的な生徒支援をより一層充実させる必要がある。
- ・職業や生き方についての自覚を持たせ、「進学先の向こうにある社会」を意識した生徒の進路希望が実現できるキャリア教育を推進していく必要がある。
- ・本校からの情報発信は大きく改善し、目に見える効果が表れてきたことから、今後の地域等との連携の在り方を深化させる必要がある。
- ・校舎の施設、設備の不具合を把握し、修繕を進めながら、より実効性のある防災体制の充実に図る必要がある。また、事故・不祥事防止への取組みを徹底する必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>○各教科・科目において、知識・技能及び思考力・判断力・表現力をバランスよく育て、予測困難な時代を生きぬく力を身に付けた人材を育成する。</p> <p>○教科横断的な学習及び持続可能な開発のための教育（ESD）を推進し、持続可能な社会の積極的な創り手を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テストの機会を増やすとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に学校全体で取り組む。 ・総合的な探究の時間において、生徒に「持続可能な開発目標（SDGs）」についての調査・研究・発表などを体験させ、「舞岡プロジェクト」の効果を各教科に波及させる具体的取組を実施する。
2	生徒指導・支援	<p>○生徒の規範意識を育み基本的な生活習慣の定着を図り、健全な成長を促し自己実現に向けた自律性・人間性の育成を目指す。</p> <p>○生徒会活動や部活動をとおして、生徒が主体的に取り組める行事等の充実を図り、人間力を身に付けた人材育成を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の基本的な生活習慣の定着、自己指導能力向上に組織的な取組を行う。 ・行事への取組方や部活動の活動方法等について見直しを図り、より主体的・効率的な生徒会活動の改革を図る。
3	進路指導・支援	<p>○「進学先の向こうにある社会」を具体的に意識し、自主的に職業、生き方、社会へのかかわり方について生徒の理解を深めさせ、生徒の希望する進路実現に向けたキャリア教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らが自己のライフプランを形成できるように、自主的に取り組めるキャリア教育の設計と構築を図る。 ・新様式の調査書、大学入学共通テスト、高大接続改革に対応できる体制を構築し、不安のない進路実現を目指す。
4	地域等との協働	<p>○Webページなど様々な広報媒体を活用して、県民にわかりやすい情報提供をより一層推進する。</p> <p>○地域や保護者及び分教室との連携を更に深め、開かれた学校づくりの推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信から、地域との協働につながる取組を推進する。 ・保土ヶ谷養護学校分教室との交流事業を推進するとともに、生徒が地域行事（防災訓練等）へ積極的に参加しながら、近隣の学校や自治会及び企業等との連携を充実する。
5	学校管理 学校運営	<p>○安心して安全な学校をつくれるよう、学習環境の改善を推進する。</p> <p>○教員の意識改革を促し、教員の働き方改革を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震工事に関する校内一部移転の準備を着実に推進し、より良い学習環境の改善を図る。 ・仕事をオープンにし、教員間の協働を推進して勤務時間を短縮する。